

外国人等に対する熱中症等関連情報の提供の
あり方に係るワーキンググループについて
(案)

1. ワーキンググループの設置

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会は7月から9月の暑さが厳しい期間に開催され、世界各国から我が国の夏の暑さに慣れていない多くの外国人等が訪れることが見込まれる。

このため、熱中症の説明や予防法など外国人等に対して発信すべき情報の内容と提供手段のあり方について検討を行うため、外国人等に対する熱中症等関連情報の提供のあり方に係るワーキンググループを平成27年11月に設置。

構成員

内閣官房、消防庁、外務省、厚生労働省、観光庁、気象庁、環境省

オブザーバー

北海道、宮城県、福島県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、組織委員会

2. ワーキンググループの開催状況

第1回（平成27年11月12日）

- ワーキンググループの設置について

第2回（平成28年6月9日）

- 平成28年度における熱中症等関連情報の情報発信の計画について

第3回（平成29年6月12日）

- 平成29年度における熱中症等関連情報の情報発信の計画について

第4回（平成30年5月30日）

- 平成30年度における熱中症等関連情報の情報発信の計画について

第5回（令和元年5月22日）

- 令和元年度における熱中症等関連情報の情報発信の計画について

3. 熱中症等関連情報の情報発信の計画について

熱中症に対する予防方法や発症時の対応などの情報を外国人等に分かりやすく発信し、早期に対処できるようにすることが重要である。

熱中症等関連情報については、これまで外国語による情報発信が少なかったため、平成28年度より関係業界・団体等の協力を得て情報発信を強化してきた。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、日本の暑さを知らない外国人等に対して、きめ細やかな情報発信を行うことを目的に、具体的な取組に関する計画を策定する。

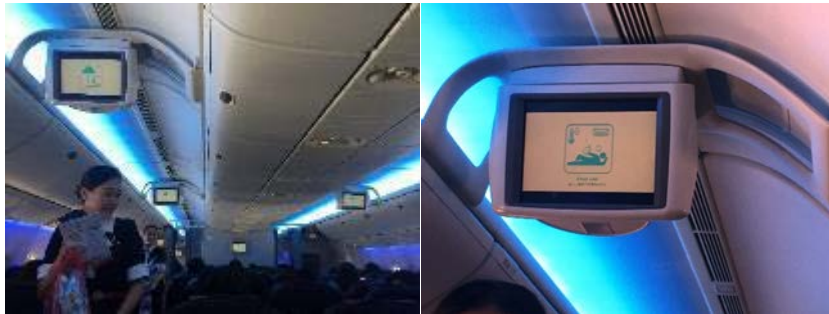
(参考) これまでの取組について

1. 訪日前の外国人向け情報発信

- 在外公館のホームページ、Twitter、Facebook上に熱中症関連情報のリンクを掲載。
- 海外向けラジオ番組内のCMに、熱中症関連情報を外国語で世界中に発信。

2. 訪日中の外国人向け情報発信

- 熱中症予防情報サイト（環境省）、気象庁ウェブサイト、東京都ウェブサイトで、気象情報や熱中症の予防・対処方法を多言語で発信。
- プッシュ型情報提供アプリで、熱中症や外国人受入医療機関の情報を発信。
- 民間企業と連携し、訪日外国人に対する熱中症予防の呼びかけを実施。



飛行機内ビデオを利用した呼びかけ
(熱中症予防声かけプロジェクト)



海外向けラジオ
(エフエム東京)

- 外国人旅行者が利用する施設等で、訪日外国人向けリーフレットを配布。
- 救急車利用ガイドや熱中症予防広報メッセージを多言語で発信。